

## 英国へ向かう飛行機に搭乗するにあたって

2020.09.01      RIKKYO SCHOOL IN ENGLAND

在住国、在住地域によって、COVID-19 の影響に伴う注意は異なります。

下記は、学校として最低限お願いするものです。これ以上に注意すべきことがあれば、在住する国や地域の方針に従って下さい。

### ① 機内に持ち込む手荷物の中で、準備・持参してほしいもの

✓	準備するもの	備考
	渡航時は、私服を着用すること	制服は着用しないで下さい。 着用した私服は、帰寮後、必ず洗濯に出して下さい。
	ボールペン	入国カード記入用。他の人から借りなくて済むように。
	マスク	バブルカラーのものを用意しましょう（飛行機用のみ）
	携帯用消毒ジェル	必ず 100ml 以下にしましょう。（機内持ち込み制限があります）
	除菌シート	
	〈任意〉使い捨て手袋	トイレで活躍します。
	常備薬	

### ② 自宅を出発する前に。

✓	やること	備考
	健康チェック	発熱していませんか？ しつこい咳（せき）はありませんか？ 味やにおいに異常を感じていませんか？ そのほか、体調の悪いところはありませんか？ <b>体調が悪い場合には、飛行機に乗らないで下さい。</b>
	オンラインで、 チェックインを済ませて下さい。	
	在住国の旅行の注意、及び利用空港のウェブサイトで空港利用の注意を確認して下さい。	
	48 時間以内に英国政府サイトへアクセスし英国での滞在情報を登録して下さい。	保護者会で説明しています
	気持ちは大丈夫ですか？ いざ出発しようとして、どうしても不安が大きく、心配でたまらなくなったら、おうちの方とよく相談して、本当に英国に向かうかどうか、最後の決断をして下さい。	

### ③ 空港に向かう時…

✓	注意すること	備考
	児童・生徒に付き添う保護者は できるだけ人数を少なくして下さい。	
	できるだけ自家用車で向かって下さい	どうしても公共の交通機関を利用する場合は、 健康の安全を守る行動を心掛けて下さい。

④出発する空港で。

✓	注意すること	備考
	こまめに手を消毒しましょう	ものに触れる前、触れた後は必ず消毒しましょう。
	マスクを着用しましょう	
	2m 以上の社会的距離をとること。	どんなになつかしくても、立教生同士でも守りましょう。他者に直接触れてはいけません。
	不用意にあちこちを触らないこと 他者との接触をできるだけ避けること	やむを得ず、触れた場合は、手を消毒すること。
	店舗に立ち寄らないこと	事前に十分に準備し、買い忘れがないようにしましょう。どうしても立ち寄る時には、2m 以上の社会的距離をとり、手の消毒を心掛けましょう。また除菌シートを使って除菌しましょう。できれば、食べものは買わず、自分のものを持参すること。
	スーツケースを預ける列に並ぶ時は、できるだけ社会的距離をとりましょう。	
	荷物検査・セキュリティ検査の前と後には必ず、手を消毒しましょう。 他人が触れた箇所は、除菌シートでぬぐいましょう。	
	トイレを利用する前と後は、必ず手を消毒しましょう。	

⑤機内で。

✓	注意すること	備考
	マスクを常に着用していきましょう。	食事を摂る時を除く。
	自分が触れるもの、使うものは、除菌シートでぬぐいましょう。	
	備えつけの雑誌などに触れないこと。	機内の安全確認シートだけは確認しましょう。
	顔を触らないこと。	手の消毒はこまめにしましょう。
	手で直接食べものに触れたり、指で直接食べものをつまんで口に入れないこと。	手を消毒していても、機内ではしてはいけません。
	トイレを使う時には、手を触れる場所を除菌シートでぬぐいましょう。	できれば、使い捨て手袋をはめて使いましょう。
	入国カードの記入は、自分のペンを使うこと。	他人から借りたりしないこと。

【食事の際に…】

- 乗務員の方は衛生的に配膳してくれるはずですが、目の前で配られたものを食べ、よくわからないものを口にするのはさけましょう。
- 食事の前と後は、必ず手を消毒して下さい。
- カトラリー類は密封された袋に収められているはずですが（衛生的であることを示す）。もし、裸のものである場合は、乗務員の方に頼んで、きれいなものをもらうようにして下さい。
- 手づかみは避けて、カトラリーを使って食べましょう。パンなどは、袋から少しずつ出して食べましょう。手を消毒していても、手づかみはさけましょう。



### 【飛行機の中でこまったら…】

- とんりの人や乗務員の方との対話は、できるだけ必要最低限にとどめましょう。
- とんりの席の人が眠ってしまい、自分にもたれかかったり、息を直接自分に吹きかけるようなことがあったりなど、困ることがあったら、飛行機の乗務員の方を呼び、助けを求めましょう。また、できる方法で消毒をしましょう。
- 体調が悪くなったら、飛行機の乗務員の方を呼び、相談しましょう。

### ⑥英国の空港に着いたら

✓	注意すること	備考
	マスクは必ず着用していきましょう。	
	降りる前に、手を消毒すること。	
	飛行機から降りる時は、乗務員の方の指示に従うこと。	社会的距離を保つこと。
	同じ便に複数の立教生がいる場合は、飛行機を降りてから入国審査に向かうまでの間になるべく同じバブルの人同士で一緒にするようにして下さい。	同じ便に乗る生徒の詳細等は事前に渡します。 社会的距離を保つこと。
	同じバブルの新生入生に声をかけて一緒に行動し、わからないことがあれば教えてあげて下さい。	私服ですが、お互いに認識できるようにバブルカラーのマスクをつけます。
	入国審査は、係の人の指示に従うこと。	社会的距離を保つこと。 あちこち触ってはいけません。
	預けた荷物を引き取る時は 社会的距離を保つこと 使い捨て手袋をはめること。 受け取ったスーツケースは、除菌シートで全体をざっとぬぐうこと。	
	荷物を受け取るホールで最終的にバブル毎に集合し、バブルの代表の人たちは、バブルメンバー全員が揃ったら ARRIVAL HALL にいる先生に連絡をとってからまとまって ARRIVAL HALL に出て下さい。	バブルの代表の人たちは状況を必要に応じて ARRIVAL HALL で待っている先生に伝えて下さい。
	ARRIVAL HALL で迎えの先生と会ったら、指示に従って速やかにコーチ・タクシーに乗車します。	トイレは荷物を受け取るホールで済ませておくこと。

#### 〈英国の基本ルール〉

- ・ 2m 以上の社会的距離を保つこと。
- ・ 公共の屋内では、必ずマスクを着用すること。
- ・ 大きな声をあげ、つばを飛ばすような行為は避けること。
- ・ 大人数の集団で集まらないこと。



空港で、ある程度集まってしまう状態になるのはしかたありませんが、みなさん静かに。そしてバブル・リーダーの指示にしたがって、すみやかに動きましょう。